



教えて 菅田先生!

RS ウイルス



Q RS ウイルスってどんな感染症ですか？

A RS ウイルスは、乳幼児期の代表的な急性呼吸器感染症です。何度も感染を繰り返しますが、一番始めにかかった時（初感染時）は、より重症化しやすく、特に生後 6 ヶ月以内に感染した場合には、細気管支炎や肺炎などになることがあります。

Q 症状を教えてください。

A RRS ウイルスに感染した人の咳やくしゃみなどによる飛まつ感染によりうつることが多いです（マスク予防は有効です）。一般的に 4～6 日の潜伏期をすぎると、発熱、咳や鼻水などが数日続きます。初感染時の約 3 割では咳が悪化し、喘鳴（ヒューヒュー、ゼーゼー）や無呼吸が出てくる場合があります。RS ウイルスに一度かかると、繰り返す喘鳴がおきることが知られていますが、数年の経過で頻度は減少します。

Q どんな時、どのくらい入院となりますか？

A 喘鳴、無呼吸発作あるいは呼吸困難となったり、経口摂取不良や夜間の睡眠が出来なくなっている場合は入院を考えます。細気管支炎、肺炎あるいは中耳炎の合併症でも入院治療が必要となる場合があります。多くの子は5日以内の入院期間です。

Q どんな治療をしますか？

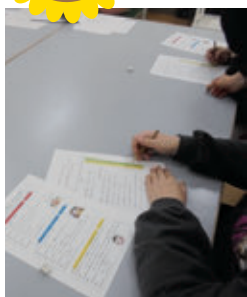
A RS ウイルスのための特効薬はありませんので、基本的には、症状に応じた治療（対症療法）を行います。重症化した場合には、酸素投与、点滴、呼吸管理などを行います。鼻汁や痰を吸引することも呼吸症状の助けになります。

Q いつから登園、登校できますか？

A 咳などが安定した後、全身状態がよくなれば登園（校）可能となります。家族や周囲の方は物からうつることもあるのでアルコール消毒、手洗いもしてくださいね。

2 病棟

の子どもたちの生活のひとコマ



2病棟の子どもたちとアサーション・トレーニングの療育時間を持ちました。場面や相手に対して、どのような自己表現が出やすいかをチェックシートで確認してもらうと、ほとんどの子が「①受け身的な自己表現」の傾向にあることが分かりました。

人とのコミュニケーションのパターンには①の他に、「②攻撃的な自己表現」と「③適切な自己表現」があります。今回はそれぞれを「ドラえもん」に出てくる登場人物で表現し、①をのび太君タイプ、②をジャイアンタイプ、③をしずかちゃんタイプとして、実際にロールプレイを行いました。

子どもたちからは、「自分もイライラするとジャイアンみたいに口が悪くなっちゃうから、しずかちゃんのように爽やかな話し方で人と関わっていきたい」、「しずかちゃんの話し方の方がお互い嫌な気持ちにならないと思った」、「しずかちゃんタイプで喋れるようになりたい」等の感想が聞かれました。人と上手にコミュニケーションをとるためには「適切な自己表現」（アサーティブな自己表現）が大切であると体験できたようです。



この体験を生活の中で実践し、“自分も相手も大事にするアサーティブ・コミュニケーション”で人とのやりとりを楽しみ、始まったばかりの新生活を有意義に過ごしてもらえるとうれいいます。

（保育士 伊藤 真衣）

通所支援事業の ひとコマ

暖かく過ごしやすい日が増えてきた3月上旬、通所支援ではひなまつりを楽しみました。ひなまつりにちなんだ紙芝居の読み聞かせでは、真剣な眼差しでおはなしを聞いたり、おだやかな表情を見せたりとさまざまな利用者さんの姿がみられました。その後は、「うれしいひなまつり」の曲に合わせ、鈴やタンバリンなどの楽器を使った音楽遊びを行いました。音が鳴ると自然に体を動かす様子や嬉しそうな笑顔が見られ、明るい音色が広がる中で和やかな雰囲気を楽しみました。また、本物のおひなさまと利用者さんが作った作品の前で記念撮影を行い、春らしい素敵な一日を過ごすことができました。これからも季節を感じられる活動を大切にしていきたいと思っています。

（児童指導員 森 日奈子）

